



知事視察のご報告

11月18日に伊原木知事が中島病院を公式訪問されました。新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ実績と、独自の先進的な取り組みを岡山県庁の対策室に認めて頂けたためです。1時間20分の間、院内視察とともに新型コロナウイルスの対策についての意見交換をさせて頂きました。知事から当院の取り組みに対して「心強く感じた」、「大変に有意義な時間であった」とのコメントを頂いたことは栄誉な事です。TV局5社と新聞2社と多くの報道陣が来院され地域のニュースで取り上げて頂きましたが、非常に好意的な内容で報道されたようです。中島病院としては更なる業務改善を敢行し、地域からも行政からも信頼される病院に進化する決意を新たにしました出来事となりました。

現在、年末年始に襲来すると思われる第6波に向け、院内の感染症対策を強化と施設改修を予定しています。プレハブや屋外での発熱者外来や入院での面会制限は継続させて頂かなければなりません。院内感染を防止し、通院中や入院中の方の健康を守るための取り組みとなりますので、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月1日

中島弘文

面会制限や一時的な外来受診抑制といった「患者協力」、外来待合でのデジタル掲示板を利用した「疾患啓発」など、すべての活動が奏功した結果です。職員のワクチン接種率も100%です。今後も新型コロナウイルスの感染状況と地域の医療情勢に応じて病床数や病床の機能変更を行い、津山地域の医療・福祉への貢献ができるように努力を継続していきます。

当院の長期目標は『Hospitality No.1』の病院になることです。理念は『地域に信頼される内科専門病院として、良質な全人的な医療を提供すること』です。高い目標を掲げて努力をし、崇高な理念を遵守することにより、創業200年を目指しています。先人達が築き上げた素晴らしい歴史と伝統を更に良い物に改革し、新たなる風土を醸成していきます。全ての患者さんに「中島病院に来て良かった」と、全ての地域住人には「素晴らしい病院だ」と言って頂けるように、病院全体として取り組んでいきます。

新型コロナウイルスの流行前の病院経営上の最大の問題点は人口減に伴う労働力減、次が患者減であると考えていましたが、これからは疫病対策も考えなくてはなりません。病院として公衆衛生に貢献しながら、職員の安全と病院の機能を守ると言う極めて難しい対応が求められていますが、全職員の英知を結集して解決策を見付け、コロナ禍という困難を乗り越えていかなければなりません。

最後に、知事の病院視察に当院を指名して頂きました事に対して篤く御礼を申し上げますと共に、引き続き当院へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年11月18日

中島病院院長（五代目） 中島弘文

ご挨拶（県知事訪問：抜粋）

中島病院は1878年（明治11年）に津山市高野本郷で開院し、1917年（大正6年）に津山市田町へ移転し、現在に至っています。144年と言う長きにわたり津山市で医療機関として存続できているのは、地域住人のご理解とご協力、近隣の医療および介護や行政機関からのご支援、過去から現在までの全職員のたゆまぬ努力の賜物です。

現在は110床の内科専門病院であり、10床を利用して新型コロナウイルス感染症患者を受け入れています。現在まで61名の入院患者を全職員の理解と協力で受け入れています。幸いにして院内感染や職員の感染者を出していません。業務時間内の感染症対策を徹底する「職員教育」、休憩時間と日常生活の行動指針を遵守する「職員協力」、発熱者外来・感染症病棟・院内の換気装置の設置という「環境整備」、発熱者外来や職員が発熱した際の休業と復職等の「マニュアル作成」、

【病院の基本理念】

私達は地域に信頼される内科専門病院として良質な全人的医療を提供いたします。



【病院の方針】

病院の理念を達成するために、次の方針を実行します。

1. 安全・安心な医療を行います。
2. いかなる人の人権も尊重します。
3. 親切丁寧な対応に努めます。
4. 個人情報保護をします。
5. 必要な知識・技術の習得に努めます。
6. 快適で清潔な病院環境を整えます。
7. 医療・介護・福祉機関と連携し、地域の人々の疾病予防・健康増進に努めます。